

第二大江学園 H29年度 自己評価について【考察】

人権・サービス委員会

平成29年度実施分の第二大江学園自己評価について、集計結果を受け考察を行い次年度以降の取り組みに繋げることとする。

実施期間:平成29年 11月6日～11月20日

対象:第二大江学園職員(非常勤を含む)47名 配布:47部 回収:47部

○自己評価集計結果に基づき、数値的に低水準な項目と、前年度比較において増減の大きかった項目について、いったんの考察を行う。

【低水準の項目】・・・過半数がA評価ではない項目を指す

- 3番・・・中・長期的な計画を踏まえた事業計画が策定されている。-4%
- 4番・・・事業計画の策定が組織的に行われ、利用者・職員に周知されている。-1%
- 5番・・・管理者自らの役割と責任を職員に対して表明している。-7%
- 6番・・・業務の質の向上や、効率化と改善に向けた取り組みに指導力を発揮している。-14%
- 8番・・・管理者は職員の意見や要望を聴く場を設けている。-7%
- 9番・・・人事考課が客観的な基準に基づいて行われている。-11%
- 10番・・・必要な人員や、就業状況を把握し必要に応じて改善する仕組みがある。-20%
- 11番・・・職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている。-19%
- 12番・・・職員の教育・研修が計画的に実施され、定期的な見直しも行われている。+6%
- 14番・・・職員が支援等に関する悩みを相談できる体制を整えている。+1%
- 17番・・・関係機関との連携を適切に行っている。-16%
- 18番・・・地域の福祉ニーズを把握した上で、事業・活動が行われている。-1%
- 43番・・・理髪店や美容院の利用について、利用者の好みを尊重した支援を行っている。-6%
- 47番・・・余暇・レクリエーションは利用者の希望に沿って行われている。-4%
- 53番・・・施設・設備に関して、利用者や来所者が利用しやすいように配慮されている。-5%

○昨年度と比較して、11番の項目が新たに【低水準】として加わっている。この項目は昨年度中に取り組みを行った項目であったが、まだ定着に至っていないと考えられる。

17番の項目が【低水準】として加わっている。医療機関や他事業所、行政機関等との連携の意識が低下していると考えられる。

43番の項目が低水準として加わっている。利用者の意思表示を適切に捉えることに課題があるという意識の表れだと考えられる。

25番の項目が【低水準】を脱している。+12% 比較的意思表示が行える利用者に対しての具体的な対応が充実しつつあると考えられる。

○25番以外の項目は昨年度から引き続き【低水準】で、11番、17番、43番が新たに【低水準】として加わっている。引き続き低水準の項目(12項目)の内10項目でさらに数値が悪化している状況。

【変動が大きかった項目】・・・10%以上の増減のあった項目を指す

【 増 】

- 25番・・・利用者からの意見等に対して具体的に対応している。+12%
- 29番・・・利用者に関するサービスの実施状況の記録が適切に行われている
それらについての管理体制が確立している。+10%
- 37番・・・食事は利用者の嗜好を考慮した献立を基本として美味しく楽しく食べられるように
工夫されている。また、その内容がサービス実施計画に反映されている。+18%
- 38番・・・喫食時間に配慮している。+10%

○昨年度はこの【増】の項目に13項目が上がっているが、今回は4項目に留まる。
【低水準】であった項目で【増】に転じたものは25番のみであった。

【 減 】

- 6番・・・業務の質の向上や、効率化と改善に向けた取り組みに指導力を発揮している。-14%
- 9番・・・人事考課が客観的な基準に基づいて行われている。-11%
- 10番・・・必要な人員や、就業状況を把握し必要に応じて改善する仕組みがある。-20%
- 11番・・・職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている。-19%
- 17番・・・関係機関との連携を適切に行っている。-16%
- 22番・・・相談苦情解決の仕組みが確立され、十分に周知・機能している。-10%
- 45番・・・必要な時、迅速かつ適切な医療が受けられる。-10%

○昨年度はこの【減】の項目に2項目あがっているが、今回は7項目となっている。7項目中
5項目は【低水準】の項目であった。

【満足度調査の観点より】保護者・利用者 ※意向が伺える項目について

(利用者)

○お部屋で気持ち良くすごせていますか？ いいえ・・・6/47

理由:居室が寒い

関連する項目・・・40番、41番、53番

○お部屋の人とトラブルはありませんか？ ある・・・10/47

関連する項目・・・25番、44番

○職員はお話をきいてくれますか？ いいえ・・・1/47

関連する項目・・・22番、25番、34番

○自由な時間は楽しく過ごせていますか？ いいえ・・・9/47

関連する項目・・・25番、32番、35番、47番

(保護者)

○サービス支援計画書は、家族の意見は反映されていますか？ 満足37/37
関連する項目・・・19番、25番、26番、28番、30番、32番、33番、36番

○日中活動について(主活動)どう思われますか？ 満足37/37
関連する項目・・・25番、30番、32番、33番、35番

○学園行事は利用者にとって楽しめる内容となっていますか？ 不満・・・2/37
理由:利用者にとって体力的に参加が難しくなっている。
:行事等本人は楽しんでる様子は無いと思う。
:行事を本人が理解しているか不明。
関連する項目・・・21番、30番、35番、47番

○学園行事での保護者の参加について負担に感じられることはありますか？ 不満・・・9/37
理由:体力的に学園に出向くことや、車の運転が難しくなっている。不参加でも理解してほしい。
:年齢的に負担
:作業奉仕が負担。暑い時季は特に熱中症にならないかと心配する。
関連する項目・・・17番、18番

○園外活動の頻度について、どう思われますか？ 不満・・・1/37
理由:子ども達も喜んでると思う。
:出掛けることが大好きなので、大変だとは思いますが、増やして欲しい。
関連する項目・・・35番、47番

○利用者の身だしなみについてどう思われますか？ 不満・・・3/33
理由:汚れている、破れている服装をしていることがある。
:夏の帰省で冬用のハーフパンツで帰ってきたことがあった。
:本人では難しい紐靴を履かせてあった。
:似合う服ではあるが、同じ服をよく着ている。靴が汚れていることが多い。
:いつも可愛らしくおしゃれに思ってもらっていると思う。
関連する項目・・・42番

○年金、小遣いは適切に使われていると思いますか？ 不満・・・1/33
理由:不要な物を買わされていると思う。
関連する項目・・・35番、42番、49番

○各部署の職員の構成について、どう思われますか？ 不満・・・3/33
理由:職員が足りないと思う。
:夜間の職員が足りないと思う。
:男性職員が少ないと思う。
関連する項目・・・10番

○健康面、体調管理について、どう思われますか？ 不満・・・2/33
理由:ずっと一人を見てもらっている訳ではないので、把握が難しいと思う。
関連する項目・・・15番、17番、45番、46番

○環境設備についてどう思われますか？ 不満・・・3/33
理由:冬の風呂場が寒そうで気になる。
:部屋も狭く自由時間を過ごす場所もなく、いつも皆廊下にいる。
:部屋が狭すぎる。
関連する項目・・・40番、53番

○平成28年度の自己評価結果をうけて、29年度内での取り組みとして 項目14番と25番について検討を行ってきた。年度途中(11月)での評価の実施であったが、どちらもプラスの評価となっている。ただし14番については+1%であった。25番については+12%で低水準を脱することができている。14番についてはこれからの取り組み次第で、30年度の結果に期待したい所である。評価全体としては、低水準の項目が増加したこと、改善の数値の伸びが少なくなったことが課題として挙げられる。

○今回より利用者・家族向けの満足度調査の結果についても考察に加えているので、各項目との関連性を考慮しながら、評価結果を読み解いて下さい。
この評価結果をもとに次年度の(新)「支援向上委員会」内で検討していきますので、内容の把握を宜しくお願い致します。

※第二大江学園 各部署掲示をもって「公表」することとします。

平成29年度 第二大江学園 自己評価
【 集計 】

理念・基本方針		評価			
		A	B	C	
1	理念と基本方針が明文化されている	28年度	46	5	0
			90%	10%	0%
		29年度	40	7	0
			85%	15%	0%
比較・考察		-5%			
2	理念と基本方針が利用者・職員に周知されている	28年度	30	19	2
			59%	37%	4%
		29年度	28	19	0
			59%	41%	0%
比較・考察		0			
事業計画の策定		評価			
		A	B	C	
3	中・長期的な計画を踏まえた事業計画が策定されている	28年度	22	27	2
			43%	53%	4%
		29年度	18	28	1
			39%	59%	2%
比較・考察		-4%			
4	事業計画の策定が組織的に行われ、利用者・職員に周知されている	28年度	13	33	5
			25%	65%	10%
		29年度	11	29	7
			24%	61%	15%
比較・考察		-1%			
管理者の責任とリーダーシップ		評価			
		A	B	C	
5	管理者自らの役割と責任を職員に対して表明している	28年度	20	25	6
			39%	49%	12%
		29年度	15	24	8
			32%	51%	17%
比較・考察		-7%			

No.	内容	年度	A	B	C	無回答
6	業務の質の向上や、効率化と改善に向けた取り組みに指導力を発揮している	28年度	14	33	4	
			27%	65%	8%	
	比較・考察		-14%			
7	管理者は、利用者またはその家族の意見や要望を聴く場を設けている	28年度	29	21	1	
			57%	41%	2%	
	比較・考察		+9%			
8	管理者は職員の意見や要望を聴く場を設けている。	28年度	11	29	11	
			22%	56%	22%	
	比較・考察		-7%			
人材の確保・養成			評価			
9	人事考課が客観的な基準に基づいて行われている	28年度	18	27	6	
			38%	52%	8%	
	比較・考察		-11%			
10	必要な人員や、就業状況を把握し必要に応じて改善する仕組みがある	28年度	17	30	4	
			33%	59%	8%	
	比較・考察		-20%			
11	職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている。	28年度	30	17	4	
			59%	33%	8%	
	比較・考察		-19%			
29年度			6	33	7	1
			13%	70%	15%	2%
29年度			31	15	1	
			66%	32%	2%	
29年度			7	31	9	
			15%	66%	19%	
29年度			13	28	6	
			27%	60%	13%	
29年度			6	26	14	1
			13%	55%	30%	2%
29年度			19	21	6	1
			40%	45%	13%	2%

12	職員の教育・研修が計画的に実施され、定期的な見直しも行われている	28年度	A	B	C	無回答	
			22	29	2	1	
		29年度	34%	46%	18%	2%	
			19	24	4		
				40%	51%	9%	
比較・考察			+6%				
13	実習生の受け入れと育成を、積極的に行っている	28年度	A	B	C		
			36	15	0		
		29年度	71%	29%	0%		
			32	15	0		
				68%	32%	0%	
比較・考察			-3%				
14	職員が支援等に関する悩みを相談することのできる体制を整えている	28年度	A	B	C	無回答	
			14	24	12	1	
		29年度	20%	46%	34%	2%	
			10	28	9		
				21%	59%	20%	
比較・考察	(意見) ・職員が相談したい時に具体的にどのように誰に行うかなどの体制の確立はできていないと思う。 ・人権サービス委員会でとりあげられた相談体制が、早く確立されることを願っています。 ・相談窓口の方に言いにくい。		+1%				
安全管理			評価				
15	災害時・事故・感染症等の緊急時における、利用者の安全確保のための体制が整備されている。	28年度	A	B	C		
			30	21	0		
		29年度	54%	40%	0%		
			29	15	3		
				61%	32%	7%	
比較・考察			+7%				

地域との交流と連携		評価				
		A	B	C		
16	ボランティア受け入れ等、地域との関わりを大切にしている	28年度	31	17	3	
			59%	35%	6%	
		29年度	31	16	0	
			66%	34%	0%	
比較・考察		+7%				
17	関係機関との連携を適切に行っている	28年度	32	16	2	無回答 1
			63%	31%	4%	2%
		29年度	22	25	0	
			47%	53%	0%	
比較・考察		-16%				
18	地域の福祉ニーズを把握したうえで、事業・活動が行われている	28年度	22	20	7	無回答 2
			43%	39%	14%	4%
		29年度	20	25	2	
			42%	53%	5%	
比較・考察		-1%				
利用者本位の福祉サービス		評価				
		A	B	C		
19	利用者を尊重したサービス提供について共通の理解を持つための取り組みを行っている	28年度	35	15	1	
			69%	29%	2%	
		29年度	33	14	0	
			70%	30%	0%	
比較・考察		+1%				
20	利用者のプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備している	28年度	34	15	1	無回答 1
			67%	29%	2%	2%
		29年度	30	15	0	2
			64%	32%	0%	4%
比較・考察		-3%				
21	利用者満足の向上を意図した仕組みを整備し、取り組みを行っている	28年度	33	17	1	
			65%	33%	2%	
		29年度	29	18	0	
			62%	38%	0%	
比較・考察		-3%				

22	相談・苦情解決の仕組みが確立され、十分に周知・機能している	28年度	A	B	C	
			32	19	0	
		29年度	63%	37%	0%	
			25	22	0	
比較・考察			-10%			
23	施設内で虐待事案発生時の対応方法などを具体的に文章化している	28年度	A	B	C	
			36	14	1	
		29年度	71%	27%	2%	
			37	10	0	
比較・考察			+7%			
24	施設内で虐待事案が発生した場合の再発防止策等を、具体的に文章化している	28年度	A	B	C	
			31	19	1	
		29年度	61%	37%	2%	
			33	13	1	
比較・考察			+9%			
25	利用者からの意見等に対して具体的に対応している	28年度	A	B	C	
			21	25	5	
		29年度	41%	49%	10%	
			25	19	3	
比較・考察			+12%			
サービスの質の確保			評価			
26	サービスの内容について、定期的に評価を行う体制を整備している	28年度	A	B	C	無回答
			38	12	0	1
		29年度	74%	24%	0%	2%
			37	10	0	
比較・考察			+4%			
27	評価の結果に基づき、組織として取り組むべき課題を明確にし、改善策・改善実施計画を立て、実施している	28年度	A	B	C	無回答
			29	18	3	1
		29年度	57%	35%	6%	2%
			30	16	1	
比較・考察			+7%			

28	提供するサービスについて、標準的な実施方法が文書化され、サービスが提供されている	28年度	A	B	C	無回答	
			35	15	0	1	
		29年度	69%	29%	0%	2%	
			32	15	0		
				68%	32%	0%	
比較・考察			-1%				
29	利用者に関するサービスの実施状況の記録が適切に行われている。それらについての管理体制が確立している	28年度	A	B	C	無回答	
			36	13	1	1	
		29年度	71%	25%	2%	2%	
			38	9	0		
				81%	19%	0%	
比較・考察			+10%				
サービスの開始・継続				評価			
30	利用者の希望するサービスを尊重し、開始にあたって適切に説明し、同意が得られている	28年度	A	B	C	無回答	
			39	10	1	1	
		29年度	76%	20%	2%	2%	
			37	10	0		
				78%	22%	0%	
比較・考察			+2%				
31	事業所の変更、家庭への生活移行等にあたり、サービスの継続性に配慮した対応を行っている	28年度	A	B	C	無回答	
			39	9	0	3	
		29年度	76%	18%	0%	6%	
			32	14	1		
				68%	30%	2%	
比較・考察			-8%				
サービス実施計画の策定				評価			
32	適切なアセスメントに基づき、サービス実施計画が策定されている	28年度	A	B	C	無回答	
			40	10	0	1	
		29年度	78%	20%	0%	2%	
			37	10	0		
				78%	22%	0%	
比較・考察			0				
33	定期的にサービス実施計画の評価・見直しを行っている	28年度	A	B	C	無回答	
			45	5	0	1	
		29年度	88%	10%	0%	2%	
			40	7	0		
				85%	15%	0%	
比較・考察			-3%				

利用者の尊重		評価				
34	職員の接し方について、利用者をひとりの個人として尊重する取り組みを行っている	28年度	A	B	C	
			30	21	0	
		29年度	62%	36%	0%	
			33	14	0	
比較・考察			+8%			
35	利用者の主体的な活動を尊重している	28年度	A	B	C	
			29	19	3	
		29年度	57%	37%	6%	
			29	18	0	
比較・考察			+4%			
36	利用者の自力で行う日常生活上の行為に対する見守りと支援の体制が整備されている	28年度	A	B	C	
			29	18	4	
		29年度	57%	35%	8%	
			25	22	0	
比較・考察			-4%			
日常生活支援		評価				
37	食事は利用者の嗜好を考慮した献立を基本として美味しく楽しく食べられるように工夫されている。またその内容がサービス実施計画に反映されている	28年度	A	B	C	
			34	17	0	
		29年度	67%	33%	0%	
			40	6	1	
比較・考察			+18%			
38	喫食時間に配慮している	28年度	A	B	C	無回答
			36	13	2	
		29年度	71%	25%	4%	
			38	7	0	2
比較・考察			+10%			4%
39	入浴は利用者の障害程度や介助方法など個人的な事情に配慮し、希望に沿って行われている	28年度	A	B	C	
			33	16	2	
		29年度	65%	31%	4%	
			35	12	0	
比較・考察			+9%			

			A		C	無回答
40	浴室・脱衣場等の環境は適切である	28年度	33		18	1
			65%		35%	2%
		29年度	29		18	
			62%		38%	
比較・考察	(意見)・浴室が広いと、冬になってくると寒い。浴室内が寒いと入浴時は予めお湯の湯気で浴室内を温める等の工夫は行っている。 ・お湯の温度が調節できないことが多い(冬にぬるい) 廊下から丸見えになるので、入り口にカーテンや暖簾が必要だと思う。シャワーの数に対して(入れる人数に対して)洗い場が広すぎて危険。		-3%			
41	排泄介助は清潔で快適な環境の中で行われている	28年度	A		C	
			33		18	
		29年度	65%		35%	
			28		19	
			59%		41%	
比較・考察	(意見)・Cではないが、トイレの環境にやや快適でない部分がある(トイレ環境の点検・改善、プライバシーに配慮した設備、冷暖房設備、防臭)		-6%			
42	利用者の好みや個性を尊重し、清潔で適切な衣類の選択を支援している	28年度	A	B	C	
			31	19	1	
		29年度	61%	37%	2%	
			32	13	2	
			68%	28%	4%	
比較・考察			+7%			
43	理髪店や美容院の利用について、利用者の好みを尊重した支援を行っている	28年度	A	B	C	
			26	22	3	
		29年度	51%	43%	6%	
			21	19	7	
			45%	40%	15%	
比較・考察			-6%			
44	安眠できるように配慮している	28年度	A		C	
			41		10	
		29年度	80%		20%	
			38		9	
			81%		19%	
比較・考察			+1%			
45	必要な時、迅速かつ適切な医療が受けられる	28年度	A	B	C	
			39	11	1	
		29年度	76%	22%	2%	
			31	16	0	
			66%	34%	0%	
比較・考察			-10%			

46	内服薬・外用薬等の扱いは確実に行われている	28年度	A		C
			47		4
		29年度	92%		8%
			46		1
			98%		2%
比較・考察			+6%		
47	余暇・レクリエーションは利用者の希望に沿って行われている	28年度	A	B	C
			24	23	4
		29年度	47%	45%	8%
			20	25	2
			43%	53%	4%
比較・考察			-4%		
48	外泊(帰省)は利用者の希望に沿って行われている	28年度	A	B	C
			33	16	2
		29年度	65%	31%	4%
			30	15	2
			64%	32%	4%
比較・考察			-1%		
49	預り金について、適切な管理体制が作られている	28年度	A	B	C
			45	6	0
		29年度	88%	12%	0%
			44	3	0
			93%	7%	0%
比較・考察			+5%		
50	新聞・雑誌の購読やテレビ視聴について、利用者の意志や希望に沿って利用できる	28年度	A		C
			49		2
		29年度	96%		4%
			42		5
			89%		11%
比較・考察			-7%		

51	嗜好品(タバコ、酒等)については、健康上の影響等を考慮した上で、利用者の意志や希望が尊重されている		A		C	無回答
		28年度	45		6	
			88%		12%	
		29年度	44		2	1
94%			4%	2%		
比較・考察			+6%			
52	社会適応訓練等に関しては、利用者の状況に応じた支援を行っている		A	B	C	
		28年度	25	24	2	
			49%	47%	4%	
		29年度	27	18	2	
58%	38%		4%			
比較・考察			+9%			
施設・設備			評価			
53	施設・設備に関して、利用者や来所者が利用しやすいように配慮されている		A	B	C	
		28年度	18	29	4	
			35%	57%	8%	
		29年度	14	25	8	
30%	53%		17%			
比較・考察	(意見)・入口やトイレが狭く、車いすでは入りにくい(とろくG) ・様々な設備が古いまま利用されている為、不便さを感じる。		-5%			